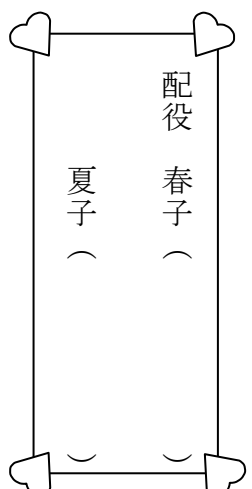


熱中症に気をつけて

(地域の草取りの後で…)



春子 「今日の草取りは暑かったなあ。」

ぬっかたなあ

夏子 「まこて ぬきして汗がドライドライ流れたが

「ほんとうに、暑くて汗がダラダラ流れたわあ。」

春子 「ほんなら ちよつち うちげよつせえ、つんて茶でん、のん行つきやい

「それなら、ちよつと、うちに寄って冷たいお茶でも飲んで行きなさいよ。

なればいかんでなあ。

熱中症になったらいけないからね。」

夏子 「はあ？熱中症？」

今じゃした。座いやん座いやん。

春子 「お義母さん！今でした。座って座って。」

(椅子に誘い、お婆さんがお茶を出す。適当に会話する。)

あゝそげん言えば、運動すつしやら、暑っかといいで働つしが

夏子 「あゝそういえば、熱中症は運動をする人とか、暑い所で働く人なるって

なつたて聞くどな

聞くよね。」

じゃんなる。あたいたつも暑っか所になごおつたし、汗をびつしよいかいた

春子 「だよね。私達も暑い所に長くいたし、汗をたくさんかいたから、水をたくで、水をずんばい飲まんないかなる。熱中症になればいかんでなる。」

さん飲まないといけないね。熱中症になったらいけないしね。」

おおげさやっどねゝ

夏子 「おおげさだね。」

そいがなる、多かとじやつて。

春子 「それがね、熱中症って高齢者に多いんだって。」

そげんいえば、暑っか日でん

夏子 「そういえば、うちのお義母さんは、暑い日でも窓を閉め切って、厚着して、

あつかかおして 流しておいやっど。そげんときやいつき

赤い顔して汗をダランダラン流していることがあるよ。そんなときにはあわて

脱がすつとよ。

て窓を開けて風を入れて服を一枚脱がせるのよ。」

そやよかな〜 とつと、暑^ぬつき寒^{さん}さがわからんじ、服^{いしょ}の着^き方がおか

春子 「それはいいね。年をとると、温度感覚が鈍くなつて、洋服の着方がおかしくしゅなつどな〜
なるみたいだね。」

そんなら、置いた方がよかどな〜

夏子 「それなら、年をとつたら、部屋に温度計を、置いとかないといけないつてことだね。」

じゃつどな〜。やつぱい、茶やら水を飲んごと何度も言わないかんな〜

春子 「そうなのよ。それに、お水やお茶を飲んでもらうように何回も声をかけないわがからはなかなか飲まんてな〜。のどが

といけないのよ。言わないとなかなか飲まないからね。年を取ると、のどがけたのもわからんでな〜

渴きも感じにくくなるからね。」

じゃつで、水がたらんごなつどな〜

夏子 「それで、水分不足になりやすいというわけなんだね。」

じゃつど、じゃつど。三度三度、飯くたかし飲んごんしてトイレに

春子 「そうなのよ。だからうちでは、朝・昼・晩の御飯の時はもちろん、トイレに行った帰りにコップに一杯、寝る前に一杯、枕元にもペットボトルを置いて

飲^のがなつごんしとかないかんな〜

飲んでもらうようにしているのよ。」

よう考^{かん}げちよつきやんな〜。熱中症は心配なかな〜

夏子 「さすが春ちゃん！よく考えてるね。熱中症対策完璧だね。」

そげんこつじゃな〜。高^{といなもん}齢者は部屋におつてん熱中症にかかつてな〜。

春子 「そういうこと！高齢者は部屋にいても熱中症にかかるっていうからね。」
ないな〜？部屋におつてん熱中症にかかつてな〜？

夏子 「ええ？部屋にいて熱中症になるの？」

じゃつど。あつたらしかつて言わんじ、暑^ぬつか日は

春子 「そうなのよ。電気代がもつたないといけないつて言わないで暑い日はクーラーをつけて涼^{すず}しゅしてくれんなな〜

て気持ち良く過^ごこさせてあげないといけないよ。扇風機もいいんだけど、閉

めきつた暑い部屋で使うと熱い風をあてることになるから、かえつてよくな

つこえば、ぬつか風を回すばつかいで、ゆかな

よかどん、

つちゅわお。

いのよ。」

夏子 「気をつけないとな。」

夏子 「気をつけないといけないね。」

春子 「そげんいえば、

あつでち

回っ

春子 「そういえば、今日*○○○公民館で『熱中症』の話があるって回覧板がき

きた

いっしょ聞行こや

てたでしょう。」

夏子 「じゃなあ

いっしょ聞いたみるかい。そいなら、

くつで待つちよ

夏子 「そうだね、一緒に行ってみようか。それなら、急いで着替えてくるから待つ

いくいやい。

ててね。」

* 部分は市町村によって違うので、その都度確認の上、変更して下さい。

